



2団体を視察研修

自治組織役員会

八幡自治組織運営協議会は役員を中心に8月21日、「買い物支援」策を実践している中津市山国町の「みんなのお店やまくに」と、地域協議会運営事例の宇佐市安心院町「深見地区まちづくり協議会」を視察研修いたしました。



▲買い物客の絶え間ない「みんなのお店やまくに」のレジ

山国地域では人口減少が進みそれまでであった町内に唯一のスーパーマーケットが閉店。生鮮食料品を販売する店舗を望む住民の声から開店した、行政支援の店舗が「みんなのお店やまくに」です。

店舗開設前、山国地域内の全戸に行った聞き取り調査では、日常的な買い物物が地区内でできるよう望む声が多数を占める結果が得られました。

そこで、中津市が市役所の山国支所に付属する施設を、店舗に改装。平成27年6月同店をオープン。同支所敷地内にある一般財団法人「コアやまくに」が中津市の委託で営業。生鮮食料品、日用品のほか、地域の農家の作った野菜も販売し住民のニーズに添えている。開店翌年には売り場面積を倍増するなど、地域内の



【編集・発行】
八幡自治組織運営協議会
【事務局】
八幡自治会館
(八幡の郷サンホール)
TEL: 72-0033

人達から好評で売り上げも順調に伸びています。

午後は「深見地区まちづくり協議会」を研修。

同地区は人口1,505人、世帯数664人、過疎化率48%と八幡地区と比べてほぼ人口、世帯数は同じくらいだが、高齢化がやや進んでいるのではと思われる地区です。

行政(宇佐市)の支援で同協議会を平成21年11月に設立。事務所は統合により空いた旧深見中学校を活用し地域づくりをしています。八幡自治組織運営協議会と同様に4つの専門部会を構成し運営しています。

大分大学との交流がある点も八幡と似ています。同地区は別府大学、日本文理大学とも交流しています。



(写真上) 説明する深見まちづくり協議会の清永事務局長 (写真下) 深見会場で



さかしい会

暑い夏も「さかしい会」の皆さんは元気です！
8月は3回開催。

餃子や揚げだし豆腐、盆だんごも作りました。8月25日のレクレーションは、九州電力のホームアドバイザーの皆さんにお越し頂き、エコクラフト講座を開講。クラフトテープでカゴ作りをしました。「集中し過ぎて顔がゆがむわ〜(笑)」と少し固めのクラフトテープと格闘しながら、それぞれ素敵な作品が出来上がりました。



同協議会の特徴としては「しめ縄作り」や草刈り等で収益の一部を運営に補完するなどの自己資金確保を

している事が挙げられます。また「ワンコインバイクング」と銘打って、地域の人々が楽しめるような500円でのバイクングや、酒持ち込みの居酒屋など、地域住民同士の交流活動にも取り組んでいます。2つの研修では、一つは地域住民の強い願いが行政を動かした事、もう一つは地域住民参加型の住民自らが住みよいまちづくりを考へ行動する事によって功を奏していると推察される研修となりました。

紙面の都合上掲載出来なかった記事や写真をホームページ上に公開しているのぞ、ぜひご覧ください。ホームページへは「八幡自治組織」検索